

やる気と感動

学校だより 12号

平成30年

8月28日(火)

＝ 33日間(実質35日間)の夏休み 終了 実りの秋へ ＝

(始業式校長あいさつより)

実質35日間の夏休みも終わってみるとあっという間でした。今日は台風の影響による大雨で、始業式の実施が心配されましたが、全校生徒178名が大きながや事故もなく二学期を迎えられることをとてもうれしく思います。

19日の日曜日には、二学期を気持ちよく迎えるために一年生と一年生の保護者、PTA環境整備部・本部役員の皆さん、先生方が一緒になり、2時間近く一生懸命作業をし、草取りや窓ガラス磨き、石畳清掃など普段できないところや、危険なところまできれいにさせていただきました。おかげさまで気持ちよく二学期を迎えることができました。テニスコートは100万円以上もかけ、町で整備していただきました。

夏休み前半は猛暑の中、県総合体育大会や、県吹奏楽コンクールが実施され、各会場で熱い闘いや心に響く演奏が繰り広げられました。野球、男女バレー、男子ソフトテニスが出場し健闘しましたが上位進出はできませんでした。吹奏楽部も銅賞という残念な結果でした。やれるだけのことはやって大会に臨んだと思いますが、いまひとつ力を出し切れなかった感じがします。大きな大会やピンチの時に力を発揮できないというのも、メンタルも含めて実力が足りなかったと受け止めましょう。部活が終わった3年生はこれからの成長のために、吹奏楽部は輝城祭の演奏へ向けて、1・2年生はこれからの部活へ向けて、足りなかったものは何に、「気づき」どうしていくかを「考え」「行動」に移していきましょう。

個人では、空手女子形で柿島佑海さんが3位に入賞し、個人形とあわせ、団体形にも諏訪綾里さん、渡辺瑚乃香さん、長坂榛香さんとともに全国大会に出場しました。水泳では50m、200m平泳ぎで、小池咲来さんが2位に入賞し関東大会出場を果たしました。

この夏で引退となる3年生は、今までお世話になった指導者、保護者、地域の方々への感謝の気持ちと、後輩に自分たちの思いをしっかりと伝えて繋いでいってください。一二年生はその思いをしっかりと受け止め、新チームづくりを進めてください。

夏休み中は、輝城祭へ向けての取組も進められました。なかには、3年生だけが自主的に集まって話し合いをした部門もあったようです。まさに、「気づき・考え・行動」した事例だと思います。

今日から始まった二学期は、「チーム南部中」として、またチームの一人として、やるべき努力、できる努力を精一杯やりましょう。

具体的に皆さんに目指してもらいたい、達成してもらいたい姿は、

- ①課題や提出物の期限も含め、約束を守りきれぬ集団・個人であること。
- ②苦しくても逃げずに努力できる集団・個人
- ③結果の原因を他人に求めず、自らをしっかりと見つめられる集団・個人
- ④人を思いやり、いじめ0を達成できる集団・個人
- ⑤学習に真剣に向かい合い、学力を伸ばし合える集団・個人です。

これらの妨げになるのは、自分への甘さや、集団のなれ合いです。自らに対しては厳しく、周囲を思いやれるような、個人や集団になってください。自分さえ良ければと、自分だけの都合や幸せを優先していると、争いが生まれ社会全体が不幸になり、個人の幸せも実現が難しくなります。

生徒会最大行事の輝城祭まであと15日しかありません。全員が燃えるような「やる気」をもって「感動」の第8回輝城祭を作りましょう。長い二学期そして新人戦、教達検、音楽発表会など多くの行事がある二学期は、成長できる最大のチャンスです。南部中の生徒一人ひとりの力と南部中学校の力を最大限、高めていきましょう。